愛されるリーダーの条件

才能、能力見極め 適材適所に

ある時、メンター（人生の師）が、「あなたが輝くには、どうすればいいかな…」と口にされました。その一言で、「あ、この人は、私が輝く場所について考えてくれてるんだ」と、とてもうれしく感じたのを覚えています。

自分のことを考えてくれる。そして、自分が輝けるチャンスを与えてくれる人に、人はついていきたい！と思うものです。

自分のことは、自分ではよくわからないもの。人に褒められたり、認められたりすることで初めて、人は自分の才能に気づいていきます。

自分ではできないと思っていても、「できる」と判断してくれて、チャンスを与えてくれたり、次のステージに連れていってくれる人と出会えたら、その人の人生は一気に加速していきます。

私は、学生時代にアナウンサー事務所を経営している方にスカウトされる、という体験をしました。自分では、あがり症で人前で話すのも苦手な私が、話す仕事なんてできるわけがないと思っていましたが、その人は、私が電車の中で友人と話しているのを聞いて、「面白い。彼女は話すのが向いている」と感じてくださったそうなのです。

その後、企業に就職が決まっていたので、当時はアナウンサーになるという道は選ばずに就職しました。それでも、その方はその後2年間ほど、説得に来てくださっていました。

才能や能力を認めてくれる人との出逢いが、人生を変えていきます。そして、その人が輝くにはどうすればいいかを考えて人に接していると、あなたについていきたいと思う人が増えていくのです。

職場内であれば、その人が輝くように適材適所を考えること。事務で採用したけれど、彼女は人と話す仕事が向いている。それが会社のさらなる魅力につながると思えば、営業や広報への異動も考える。営業で採用したけれど、精神的に繊細で、落ち込む彼を見ていられない…そう思えば、いったん営業から、経営管理や企画の担当に変えてみる、という方法もあります。

その人が輝き、さらに会社も輝く方向を探ることを続けていると、職場の空気も必ず活性化してくるはずです。その人が幸せに働ける環境をつくることが、会社の発展にもつながっていきます。

リーダーのポジションでできることは、自分についてきてくれる人が、いかに輝けるかを考えること。その人の可能性を見つけ、その人がどうしたら輝くのかを考え、そして輝く場所を用意する。

人がついてくるリーダーというのは、常にそのマインドを持っているのだと思います。そして、人を輝かせることが、あなた自身が輝くことにつながっていくのです。

【フリーアナウンサー　生田サリー】

（月曜に掲載）

ナビゲーター

誰だって、自分が生き生きと輝ける場所を探しています。

輝ける場所とは、自分の良さを発揮できる場所であり、自己肯定感を高められる場所。

その場所にすぐに出逢える人もいれば、長い時間をかけて、努力の末にその場所にたどり着くという人もいます。

リーダーは、その人の才能や可能性を見出し、その人が輝く場所を用意する、ということができます。その人が輝く場所に連れて行くのです。